

# 姉妹・友好都市

SISTER CITIES NEWS

# ニュース

協会報

第 17 号

平成 3 年 11 月 1 日 発行

編 集 ・ 発 行

茨木市国際親善都市協会



キャンプ場で交流を深めた「茨木市民親善訪問団」

## 目次

- 深まるミ市との姉妹交流…………… P 2 ・ P 3
- 安慶市への市民親善訪中団…………… P 4 ・ P 5
- 安慶市へ災害見舞金…………… P 5
- 周為民氏紹介、活動室へのご案内…………… P 6
- 小豆島・内海町観光地紹介…………… P 7
- 国際交流の足あと、寄付紹介、会員募集…………… P 8



湖畔の歓迎パーティー(上) 彫刻公園にて



ホームステイ家庭となごやかな交流

# と市三ま る深

去る7月24日から8月4日までの12日間、「市民親善訪問団」(大石喜一郎団長、34人)が森と湖に囲まれた本市の姉妹都市、ミネアポリス市を訪問し、ホームステイなどを通じ、実りある市民交流を図りました。

ミネアポリス空港に到着したのは飛行機の延着で深夜になったにもかかわらず、多数の文化協会の方々温かい出迎えを受けました。

また、ミ市市長・議長表敬訪問をはじめ各所で心温まる歓迎や献身的なもてなしを受け、ホーム

## 双子都市

## 幸せな思い出



ミネソタ訪問を終えて

団長 大石喜一郎

今年度の親善訪問団として、ミネソタへ行ってきました。先方のミ市・茨木市文化協会の心からのおもてなしで、3日間のホームステイを含め7日間の滞在中、かねて念願の「森と湖の双子都市」のあちこちを案内してもらい、この都市への親しみが一層強まりました。今回の旅行は天候にも恵まれた上、ディズニーランド等の娯楽面も企画されていたので、とても印象深く楽しいものでした。



私のホームステイ

福井高校2年 二反長博子

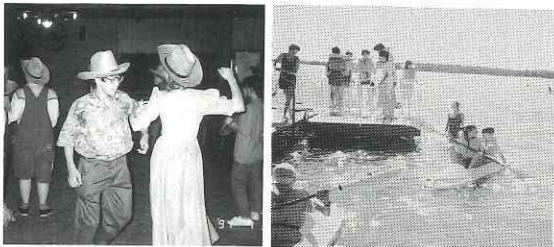
フレミング家でホームステイができたことに、私は感謝の気持ちでいっぱいです。言葉や習慣、環境の変化に不安を抱いていた私は、温かく歓迎され、優しさとおもてなしからの愛で包んでもらい、不安は少しずつ喜びへと変化していきました。たくさんの人々とふれあう機会があり、大切にもらったこと、その人達と共に過ごした時間は、私の一番幸せな思い出であり、宝物になりました。

# の 妹 姉 交 流

ステイ家庭では、まるで本当の家族や昔からの友人であるような心と心がふれあう交流を展開し、それぞれ楽しい思い出を作り、忘れられない体験がありました。

今回、青少年たちは、ミ市近郊にあるオジケタキャンプ場において、姉妹都市交流として初めてのキャンプ交流を行い、アメリカの子供達とキャンプファイアー、カヌー、水泳、手芸、野外料理などを共にし、新たな友情を深めました。

一方、成人は、ナイヤガラ滝やトロント市内



ダンスやカヌーで楽しんだキャンプ生活

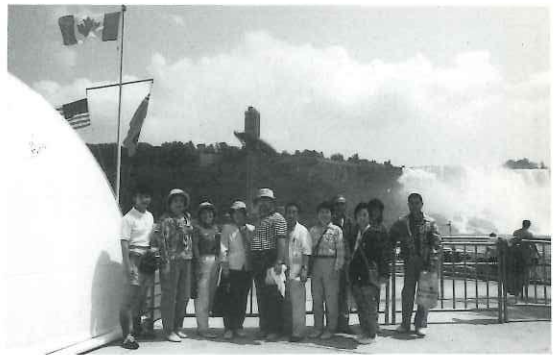
## 楽しい体験

### キャンプに参加して

大阪工業大学高校2年 奥 圭介



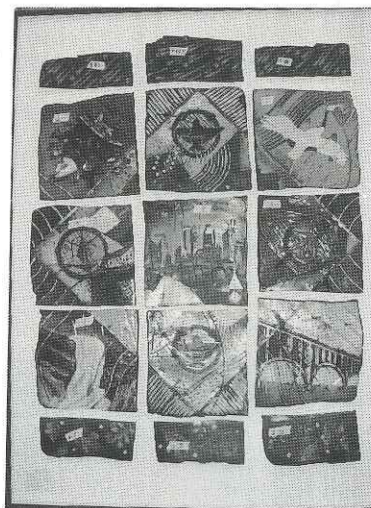
雄大なキャンプ場でアメリカの人達との共同生活は、言葉のギャップもあり苦労した面もありましたが、全てが新鮮でした。ここでは、人に楽しませてもらうのではなく、いかにして自分が楽しむかということなど、色々なことを学びました。キャンプ場での出来事を思い出したら微笑んでしまうほど、とても良かったし、またとない経験でした。「もう一度行きたい」と心の底からそう思っています。



ナイヤガラ瀑布の前にて

を見学し、ナイヤガラ滝では、天候にも恵まれ、晴れた日にしかできない滝の中の虹を見るなど、雄大なアメリカの自然を堪能しました。

そして、出発前夜のさようならパーティーでは、再会を誓い合い、いつまでも涙と固い握手で別れを惜しみ、その光景は姉妹都市提携11年の歴史や交流の成果を感じさせるものでした。



贈呈を受けたモニュメント

ミネアポリス市・茨木市文化協会から、姉妹都市提携10周年記念モニュメントが贈られてきました。

これは、ミ市在住のスタジオ陶芸家スーザン・E・ワーナーさんの作品で、両市の絆と美のシンボルを表現したものです。

## 茨木とミ市の美の絆

劉市長らと記念撮影



## 友好都市 安慶市で

# 笑顔と拍手の大歓迎

“市民レベルによる交流をより深めましょう”と、5月13日、「茨木市民親善訪中団」（清野耕作団長、24人）が、友好都市安慶市へ向け出発しました。一行は、13日・14日と2日間、上海・蘇州市を見学後、15日に列車で9時間、さらにバスで4時間かけて安慶市へ到着。中国の広さを痛感させられました。しかし、そんな団員の疲れを深

夜の到着にもかかわらず迎えてくれた温かい笑顔と拍手が吹き飛ばしてくれました。

翌16日、安慶市政府を訪れ、劉市長らを表敬訪問。その席で、さらなる市民交流を誓い合いました。その後、バスで英才教育を行っている青少年宮や市民の憩いの場となっている菱湖公園、商業活動の盛んな歩行街等を見学。特に黄梅劇学校で



華麗な黄梅劇の舞台

### 黄梅劇に感動

寺田町 平田明生

今回、市民親善訪中団の一員として参加し、誠に有意義でかつ楽しい訪問であったと心から喜んでいきます。

印象深かったのは黄梅劇で、衣装もきれいな上に演技力もあり、言葉は分からなくても大体の筋が読み、時のたつのを忘れる程でした。

また、安慶市の友好溢れる熱烈歓迎を受けるとともに、一般民衆の友好的態度に接して、日中友好を深めねばならぬと心に誓いました。




安慶市内の風景(上) 幼児センターで交流(下)

は、団員たちのために特別公演が催され、華麗な舞台に酔いしれました。

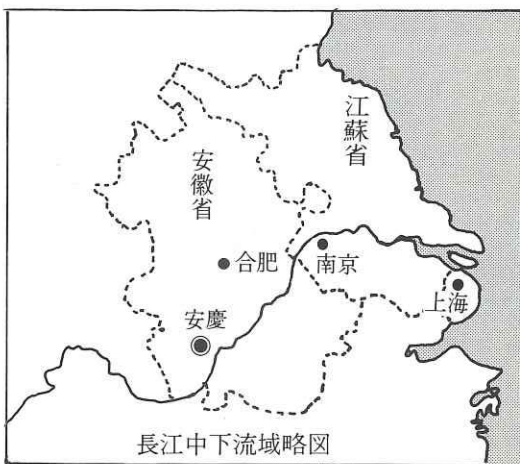
また、翌日には長江から船で市のシンボル「振風塔」の見学をしました。まさに“朋あり 遠方より来たる また楽しからずや”の精神で厚いもてなしが繰り広げられ、友好の輪がさらに大きく広がりました。

### 中国語で交流

島二丁目 川本恭隆



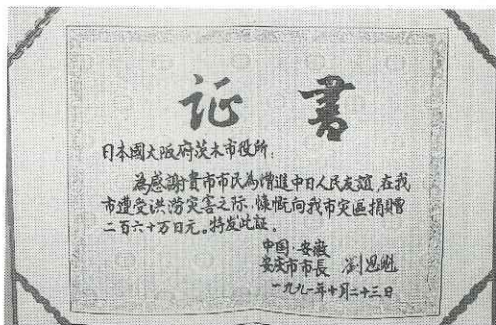
大学で学習中の中国語を試してみようと、市民親善訪中団に参加しました。上海では、方言のため言葉が通じなくて不安になりました。しかし、安慶市では、政府主催のパーティーで同じテーブルにいた方が私の下手な中国語を我慢強く聞いて下さり、コミュニケーションを図ることができました。そして帰国後、私のもとには続々と中国からの手紙が届いています。



## 安慶市へ 災害見舞金

今年6月から7月初旬の豪雨のため大水害を被った安慶市へ、早急な災害復旧を願い、災害見舞金を募集いたしましたところ、会員はじめ各関係者・団体から179件、260万円ものご協力をいただきました。ご好意に心からお礼申し上げます。なお、この見舞金は、10月23日に安慶市を訪問した「茨木市友好訪中代表団」に持参していただきました。

今回の中国での水害は、ここ数十年間見られなかったものであり、18の省、自治区、直轄市で発生し、最も被害を受けたのは、<sup>7イガ</sup>淮河流域と長江の中・下流に位置する安徽省と江蘇省で、安慶市においては郊外農村部にある湖が冠水し、2,066km<sup>2</sup>が被災、93km<sup>2</sup>の農地は収穫を見込めないほどの被害を受けました。1日も早く、災害から復旧されることを祈っております。



安慶市人民政府から見舞金のお礼

## 友好都市からの研修生

### 安慶市外事弁公室

# 周 為民氏

茨木市の友好都市である中国安徽省安慶市の外事弁公室職員周為民さん（32歳）が、国際協力事業団の研修員として8月6日来日され、8月13日から来年7月31日までの1年間茨木市において、地方行政等についての研修を受けます。

周さんは、1984年からの茨木市との友好都市交流に当初から通訳として参画され、以後8回の訪問団と共に来茨されたり、また、茨木市からの訪中団の案内役等を務めてこれ、大の親日家で茨木市のファンでもあります。

8月12日、重富市長、中内議長への挨拶を行うとともに、市長から「茨木市研修員」の辞令を受け、市役所自治推進課に席を置き研修に励んでおられます。

今回の訪問では、日本と中国との地方行政の比



守ぜらしい日本語での講演



重富市長へ挨拶



周 為民氏

較研究や、友好都市交流、日本経済のしくみ等についても研究され、幅広い交流を目的として来茨されています。

（周さんのコメント）

研修を通じて、中国人と日本人の価値観の相違が分かった。この相違点を充分認識して、日本の行政、経済事情を学んで研究したいと思います。

## 姉妹都市活動室

英語力および国際感覚の向上をめざしている「姉妹都市活動室」では、より多くの人に参加していただき、国際交流のすそ野を広げようと会員を募集しています。

例会は、月2回、福祉文化会館（オークシアター）で、外国人ゲストを迎えての講演会や研究会などを英語で行っています。

どうぞお気軽にご参加下さい。

〈例会〉 木曜会 第1木曜日午前10時  
土曜会 第3土曜日午後2時

〈会費（年額）〉 正会員 2,000円（18歳以上）  
準会員 1,000円（中・高校生）

## 青少年活動室

英語で話ができたらなあ…、外国の人とお友達になれたらなあ…と思っている人はいませんか？

「青少年活動室」では、中学生、高校生を中心に、外人ゲストを迎えて、話したり、歌ったり、ゲームをしたり等、楽しみながら英語に親しむ「サロン」を開いています。

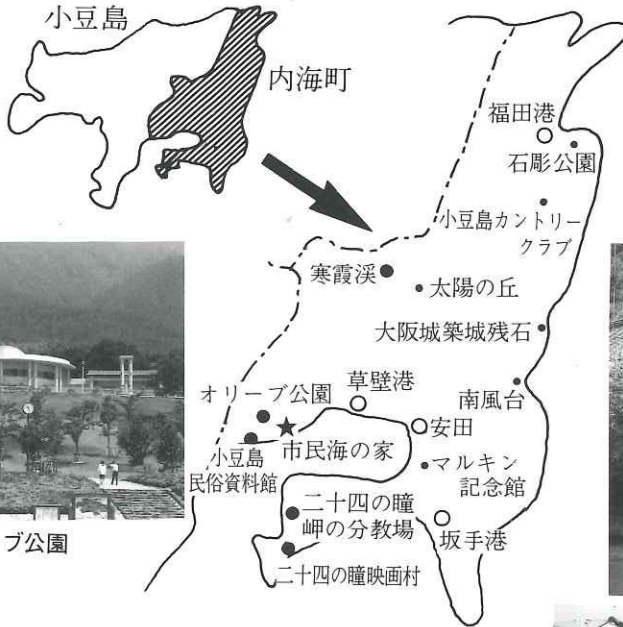
活動は、月一回、原則として第2日曜日の午後2時から福祉文化会館（オークシアター）で行っています。

会費は無料、服装などは自由ですので、友達をさそって、気軽に参加して下さい。



# 魅力いっぱいの小豆島・内海町

あなたも訪ねてみませんか



二十四の瞳映画村



お泊まりは「茨木市市民海の家」をご利用ください。



詳しくは、市役所3階自治推進課まで。

料金表

区分		料金	利用時間
宿泊	1人1泊	大人(高校生以上)	16:00~ 翌朝10:00
		小人(小・中学生)	
		幼児(小学生未満)	
休憩	1日1回	栈敷(1区画)	8:00~18:00
		客室(1室)	11:00~15:00

※食事は別料金。事前に予約が必要です。

※12月29日~翌年1月3日は休業です。

# 茨木市における国際交流の足あと

— 第16号以降の経過 —

(1991)

- 3.5 「'91小豆島オリーブマラソン」に市民27人参加。茨木市の森下氏優勝
- 6 第8回協会ゴルフコンペ開催（茨木国際ゴルフ倶楽部）
- 7 「茨木市民親善訪問団」一行34人ミネアポリス市訪問
- 7 内海町長、議長、オリーブ王国女王ら5人、茨木フェスティバルに参加
- 8 内海町と「こども交歓事業」（茨木市から45人訪内、内海町から94人来茨）
- 8 安慶市より行政研修生・周為民氏来茨。1年間茨木市で研修
- 10 市議会議員西田孝氏、松島勝夫氏ミネアポリス市訪問
- 10 ミネアポリス市より「(仮称)茨木市立中央図書館」のモニュメント制作者ハリエット・バートさん、アンドレア・デネキーさん来茨
- 10 市理事山田隆明氏、市都市計画課課長代理上野敏明氏、海外研修のためミネアポリス市訪問
- 10 内海町合併40周年記念式典に重富市長、中内議長ら出席
- 10 「茨木市友好訪中代表団」一行9人安慶市訪問



ハーフ優勝の森下氏

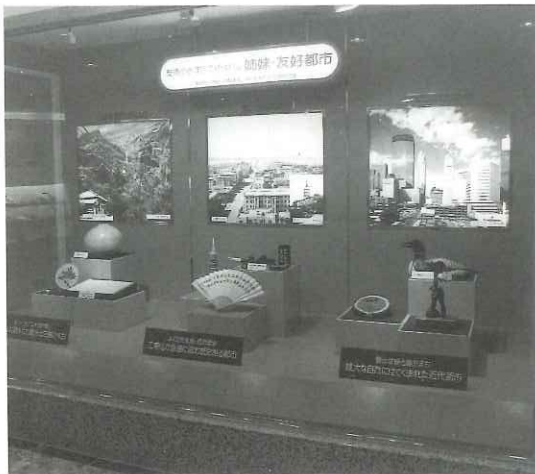


モニュメント制作打合せ



祝 内海町合併40周年記念式典

内海町合併40周年式典



ロサヴィア内の「姉妹友好都市コーナー」

市役所の東玄関ホールと3階に「国際交流展示コーナー」があるのをご存知ですか。ここには姉妹都市のミネアポリス市、内海町、友好都市の安慶市の写真や交流記念品等が展示されています。また、10月5日、新しく阪急茨木市駅に完成したロサヴィア2階に「市行政サービスコーナー」がオープンし、その一角にそれぞれの市や町を写真と物産で紹介する『姉妹友好都市コーナー』が設置されました。ぜひ一度ご覧下さい。

## 寄付

本市の国際交流事業の推進のためと、次の方々から温かいご寄付をいただきました。ご好意に心からお礼申し上げます。（5月～10月、敬称略）

- 〈市 へ〉 5月 リサイクル協同組合（100万円）
- 6月 国際ゴルフ株式会社（100万円）
- 8月 (宗)辯天宗冥應寺（120万円）

## 協会会員を募集

本協会では、姉妹・友好都市交流をはじめ、国際親善に熱意を持っておられる方々の入会を心からお待ちしています。

会員には、年2回発行しています協会報などによる本市国際活動情報の提供、会が催す姉妹・友好都市との交流行事・ゴルフコンペ等へのご案内をいたします。

- 〈会費(年額)〉 個人会員(一般) 2,000円
- (学生) 1,000円
- 団体・法人会員 一口 5,000円

〈申込先〉 協会事務局(市役所3階自治推進課  
国際交流係 ☎22-8121 内線2143)